

第38回原産年次大会の開催について

平成17年4月18日(月)～21日(木) 新潟市・柏崎市

日本原子力産業会議は、主要事業の一環として、国内外の関連分野から広く関係者の参加を得て、毎年春に「原産年次大会」を開催しています。

年次大会はエネルギー・原子力の開発利用上の重要な問題について意見の発表と討論を行う場として開催されており、本大会を通して、重要課題とその解決策を見出すための指針を得るとともに、原子力研究開発利用の進め方について国民の理解促進に資することを目的としています。

平成17年の第38回原産年次大会については、新潟県知事および柏崎市長より当会議に対し新潟県での開催要請が寄せられました。新潟県は世界でも最大級の柏崎刈羽原子力発電所を有する重要な原子力立地県であり、県民の原子力に対する関心が高い地域です。昨今の原子力界における様々な問題を背景として、わが国が今後原子力利用を進める上での自治体と国や原子力産業界の関係および各々の役割などについて、新潟県をはじめとする原子力立地地域からの意見発信が増加しています。

このような状況を踏まえ、当会議としては、年次大会が新潟県の方々と原子力関係者等との信頼感の醸成と相互理解の促進に資することを念頭におき、下記により第38回原産年次大会を開催することとし、諸準備を進めています。大会の基調テーマおよびプログラム編成等については、長谷川彰 新潟大学学長を委員長とする準備委員会において、内容の検討を進めていきます。

記

会場等：平成17年4月18日(月) 柏崎市・市民会館
平成17年4月19日(火) 新潟市・朱鷺メッセ
平成17年4月20日(水) 同 上
平成17年4月21日(木) テクニカルツアー

問合先：(社)日本原子力産業会議 政策企画本部

TEL: 03 - 5777 - 0751

FAX: 03 - 5777 - 0760

社名 社団法人 日本原子力産業会議

所在地 〒105 - 8605 東京都港区芝大門1 - 2 - 13 第一丁子家ビル

TEL 03 - 5777 - 0750 (代表)

FAX 03 - 5777 - 0760

設立 1956年 (昭和31年) 3月1日

代表者 会長 西澤 潤一

活動目的 わが国のエネルギー問題における原子力平和利用と、さまざまな分野におけるアイソトープ・放射線利用の重要性を踏まえて、国民的立場に立って原子力利用を進めるとの産業界の総意に基づいて、原子力の総合的な調査研究、知識の交流、意見の調整統一を図るとともに、政府の行う原子力開発利用計画の策定や政策の推進に協力し、国民経済と福祉社会の健全な発展向上をめざすことを目的として、多面的な活動を展開している公益法人です。

活動内容 原子力開発への国民的合意の形成
政府ならびに国会への建議・要望・提言
原子力開発利用計画の検討・推進
原子力関係国際機関との連携、諸外国等との国際協力の推進
内外の総合的な調査研究
内外情報の収集ならびに提供
技術者の養成
原産年次大会、日本アイソトープ・放射線総合会議の開催
原子力に関する知識の普及
会員相互の連絡提携